【笠岡市教育委員会】

校務DX計画

　笠岡市の教育現場におけるDX化を推進するため、以下の５つの重点項目を定め、校務DXを推進していく。笠岡市では、これらの課題を克服し、教職員の業務効率化、ペーパーレス化、そして質の高い教育活動の実現を目指す。

1. クラウドサービスの活用促進

・教職員向けのクラウドツール導入研修の実施：校務支援システムのクラウド化や教育ダッシュボー

ドの活用を促進し、データ連携による業務効率化の実現を目指す。

・次世代校務支援システムの導入完了（令和１１年度まで）に向け、令和８年度までに統合型（クラ

ウド型）校務支援システム導入の検討を進める。

・セキュリティ対策の強化：教職員に対して、クラウドサービス利用時のセキュリティ対策に関する研

修を実施し、情報漏洩のリスクを最小限に抑える。

1. 校務DX推進体制の構築

・ICTに関するサポート体制の充実：教職員のICT活用能力向上と積極的な授業への活用を促進するため、継続して「ICT支援員」を配置する。

・教職員のスキル向上：外部講師や専門家による研修を実施し、教職員のスキル向上を支援する。

・生成AIの活用：教職員向けの生成AI活用について情報提供及び研修を実施する。

３．FAX・押印の見直し

・行政機関・外部事業者との連携強化: 行政機関や外部事業者との連携を強化し、ペーパーレス

化を推進するための協定を締結していく。

・電子署名・認証システムの導入検討: 電子署名・認証システムの導入を検討し、FAXや押印に頼

らない業務体制を構築していく。

４.不必要な手入力作業の一掃

・校務支援システムへの名簿情報の入力については、令和７年度より市教委から学校をデータで提

供することで合理化を図る。

５．ペーパーレス化の推進

・会議資料のデジタル化: 会議資料をデジタル化し、ペーパーレスな会議運営を促進する。

・デジタル教材の活用促進: デジタル教材の活用を促進し、紙ベースの教材の利用を減らす。

・保護者との情報共有強化：「すぐーる」の活用による連絡の迅速化及び紙使用削減を推進する。